

「#（ハッシュタグ）」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。

出前授業実施中です！

～持続可能な「食」と「環境」を考える～

大分県拠点では、若い世代を対象に、持続可能な「食」と「環境」について考えるきっかけを作り、農林水産行政への理解醸成を図ることを目的に、新たな「食料・農業・農村基本計画」や「みどりの食料システム戦略」等の農業施策の出前授業を行っています。

4月以降、立命館アジア太平洋大学、大分県立佐伯豊南高校、日本文理大学、大分県立国東高校で出前授業を行い、「農業を取り巻く現状」、新たな「食料・農業・農村基本計画」、「みどりの食料システム戦略」等について説明を行いました。

説明後は意見交換を行い、学生や生徒からは、「気候変動が農業にも影響を与えており、これからは日本で安定して食料が供給されるのか不安。」、「政府一丸となって気候変動対策に取り組み、企業や地域のコミュニティとも連携して対策を進めると、日本の農業も持続的に続けられるのではないか。」、「食料システム法とは具体的にどのようなことをするのか。」等のたくさんの質問や意見が出されました。

引き続き、県内の大学や高校で出前授業を行う予定です。

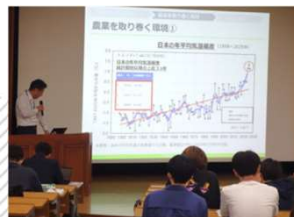
詳しくはこちらから（大分県拠点HP）



立命館アジア太平洋大学



大分県立佐伯豊南高校



日本文理大学



大分県立国東高校

国東高校では、若手農業者と連携し、就農のきっかけや農業の楽しさ、魅力等についても伝えました。

大分県立玖珠美山高校の「トマト」が高校初の日本一！！

玖珠美山高校の生徒たちが育てたトマト「美山ルビー」が、4月に開催された第5回全国トマト選手権のメディアム部門で最高金賞に選ばれました。この選手権は日本野菜ソムリエ協会が主催し青果物別で開催している品評会の一つで、プロの生産者も出品しており、今回は全国から45品がエントリーされました。産地や品種、生産者などの情報を伏せた上で野菜ソムリエが食味や美味しさを審査するもので、高校が日本一を獲得するのは初めてです。

生徒と先生で協力しながら栽培を重ね品質も安定して来たことからエントリーしたところ、最高金賞受賞となりました。



詳しくはこちら（大分県拠点HP）



7月から9月は夏の熱中症等声かけ期間です！

農作業中の



～いのちをうばう、夏のひとり作業～

農作業中の熱中症等による死亡者が急増しています！このうち、約85%が7～8月に発生しており、非常に熱中症リスクが高くなっています。

熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります！



熱中症対策（農水省HP）



熱中症対策声かけ隊募集中です！

左記の期間で、地域の農業者に対し、声掛けや見回り活動に取り組んでいただける方を募集しています。どなたでもご参加いただけます。

詳しくは、以下HPからご覧ください。

熱中症等声かけ隊（農水省HP）



農業者等との意見交換

～県内では数少ない水福連携です！～

みな丸（佐伯市）
令和8年6月23日



その他の意見交換はこちら
（大分県拠点HP）



大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

佐伯市蒲江で、カワハギ・ウマツラハギの稚魚育成業を営むご夫婦と水福連携の取組について意見交換を行いました。水福連携に取組む以前は、稚魚の育成管理を夫婦2人で行っており、特に夫がカワハギの稚魚漁で不在となる際には、生簀管理を一人で担うなど大きな負担を抱えていました。そうした中、県内の女性ネットワークの事例発表を契機に、福祉施設との水福連携に取組むことを決意しました。管理作業を工程ごとに細分化し、作業方法の伝え方や給餌量を色分けするなど視覚的工夫により、施設利用者に分かりやすく、作業しやすい環境を整えました。

その結果、作業負担の軽減に加え、水温や溶存酸素量等の環境データの収集が可能となり、効果的な育成管理によって、稚魚の成長促進や品質向上が図られ、販路拡大にもつながっています。

大分県拠点へお気軽にご相談ください！

九州農政局大分県拠点
地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28

TEL 097-532-6131（代表） FAX 097-532-6281

URL <https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

